The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 研究ノート：旧大阪外国語学校・第４回卒業記念帖「あけぼの」(1928), 故・奥平正二撮影編「昭和8年度中華及満洲修學旅行：1933年7月19日神戸港發～8月13日満洲國政府・新京解散」寫眞帖(1933), 第10回卒業記念帖「鵬翼」(支那語部, 1933)を手掛かりに同調主義を考察する |
| Author(s) | 林田, 雅至 |
| Citation | |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/103696 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

研究ノート：旧大阪外国語学校・第 4 回卒業記念帖「あけぼの」(1928)，故・奥平正二撮影編「昭和 8 年度中華及満洲修學旅行：1933 年 7 月 19 日神戸港發～8 月 13 日満洲國政府・新京解散」寫眞帖(1933)，第 10 回卒業記念帖「鵬翼」(支那語部，1933)を手掛かりに同調主義を考察する

大阪大学 CO デザインセンター名誉教授
林田雅至

## まえがき

2025 年，戦後 80 周年を記念し，人類による人災・気候変動も重なり，現在の世界の不規則的な政治状況に鑑み，上記稀覯本を手掛かりに考察を加えるものである．「あけぼの」は寄贈年月日：2009 年 9 月 9 日，咲耶会受領：同年 9 月 10 日で，寄贈者：高橋宏氏(故・高橋勇氏[旧大阪外国語学校・馬来語部・1929 年卒業]の子息)となっているが，他の 2 点は卒業写真帖制作者の故・奥平正二氏(1934 年卒)の遺族からの寄贈であり，寄贈年は 2015 年，月日までは不明である．「昭和 8 年度中華及満洲修學旅行」寫眞帖は個人アルバムであるが，その出来栄えは出色で，公式寫眞帖「鵬翼」(94 p.)の「草枕・旅行」(p.43-45)に 9 枚(/総数 21 枚≒43%)が採用されている．また，附属資料「あけぼの」冒頭写真の中に「開校記念運動會の盛況」と題する 1 ページがあるが，左奥に戦前校舎(同附属資料「大阪外国語大学創立 50 周年記念絵葉書(1972)」で確認)が写り，道路一つ挟む手前に運動場がある．実は，「大阪市パノラマ地図」(1924 年)で拡大閲覧でき，上本町八に外国語学校が立ち，校舎と運動場が見える．

## 戦時下翻弄される語学エリートたち

実は，この 3 点は歴史的な因果関係に支えられている．
吉村勝露生(沖縄第二中学出身)は当時支那語部で，1928 年第 4 回卒業式を以って卒業するので，勿論，上記「あけぼの」に顔写真，卒業生名簿にも記載がある．直後同年 6 月朝鮮総督府に巡査として赴任する．その後仏山縣参事官にあって，1936 年日中戦争直前，反満抗日軍に襲撃され，戦死殉職する．誕生日を翌日に控えた 20 代最後の日に非業の死を遂げたのである．
その彼が生前遺した唯一の作品は，戯曲『人間的な基督』(大阪外国語学校校友会編『咲耶』

第 6 号，1927.12.15)である．2019 年咲耶会事務局(旧箕面学舎)で平積みされた戦前の『咲耶』を手に取って，偶然発見したのである．みずみずしい感性で，在学中優生思想が教え込まれ，時代の波に呑み込まれながらも，イエス・キリストという存在を人間として捉え，自己投影し，赤裸々な感情をむき出しにして爆発させながら，磔刑に処されることに，本心では来てほしくないと切望する自身の(近)未来を重ね合わせた深い洞察に満ちた傑作と言える．戦場で即死したと思われるが，その瞬間，この自身の作品を思い返したのではないかと想像する．預言者であり，自らの運命の予言者であったと自覚したのではと思うが，銃弾の前に，時既に遅しであった[1)].

附属資料：「旧大阪外国語学校・第 4 回卒業記念帖「あけぼの」(1928)」の正面玄関先(写真でやや見辛い)になく，「大阪外国語大学創立 50 周年記念絵葉書」(1972)では正面玄関先に確認できる「烈士の碑」(現在外国語学部建物内[2)])に名を連ねる中川勝氏(高知土佐中学出身)も同年蒙古語部卒で，吉村氏に先立って 1933 年満洲龍江縣参事官職にあって 26 歳の若さで殉職している．痛ましいという他ない[3)].

彼が戦死した 1933 年 8 月 13 日というのは，実は，同年度支那語部による「中華及満洲修學旅行(1933 年 7 月 19 日神戸港發～8 月 12 日満州國政府表敬訪問後，13 日新京(現・長春)での現地解散)最終日にあたる．国際連盟が対日満州撤退勧告案を可決，松岡洋右日本代表は連盟への決別を述べ退場するというニュース動画でもよく知られる 2 月 24 日についで，国際連盟脱退年(3 月 27 日)でもあり，歴史的に分水嶺となる，迫りくる戦火の前哨戦において，有事下の同調圧力に命運を分けた一日であった．

また，「あけぼの」に掲載される英語科教員肖像写真に大平頼母[4)]が写る．彼はバネット著『メンデリズム』の佐藤弘毅との共譯者(岩波書店，1919.4)であったが，この本をもとに優生学ブーム(同調主義)を背景に優生思想を教授したと思われる．1933 年 7 月 14 日には当時同盟国，ヒトラー率いるドイツで遺伝疾患者の子孫を防止するための法律（断種法＝遺伝子病子孫子孫防止法）と政党樹立禁止法が成立する．その命脈は保たれ，悪しき鑑として，戦後日本で制定された優生保護法(1948-1996)に継承された．

最後に，吉村氏が卒業と同時に 1928 年 6 月朝鮮総督府に赴任するが，義祖父鈴木孫彦(1878-1930)が病を得て，京城高等商業学校校長職(1921-28)の任務を全うせず，同年 3 月山口県に戻る．所謂ニアミスである．聖書を通してにせよ，西洋文化に造詣の深かったと思われる若き文筆家の卵(？)吉村氏と欧米に留学経験もあった孫彦が在任していれば，どこかで接触の機会もあったと思われる．「たられば」は禁物であるが，孫彦は当時，柳宗悦(1889-1961)，浅川伯教(1884-1964)，巧(1891-1931)兄弟と親交を深め，朝鮮陶磁器，工芸品に「朝鮮」の民衆的魂(形の美の秀逸した感覚)に共鳴・同調し，1924 年「朝鮮民族美術館」創設に後押しした経緯がある．従って，歴史的体制の同調圧力に抗して生きた二人が本音で忌憚なく意見をぶつけ合う場面もあったのではないかと想像するだけで，興味は尽きない．また，開校時に赴任された高名な中国語辞書学者井上翠(1875-1957)―勿論，「あけぼの」「鵬翼」に肖像写真があるーは，上記鈴木孫彦と山口高商(現・山口大経済学部)で同僚，1922 年一方は

京城に，他方は新設大阪外国語學校中国語科(当時支那語部)に赴任した経緯がある.さらに，同様に開学時赴任した，戦前英語教育学大家であった千葉良祐(1871-1958)も「あけぼの」に同僚として大平頼母と並んで，その肖像写真が掲載されるが，研究社「英和大辞典」(1927-1980)第五版編纂主幹，恩師故・竹林滋(英語音声学者：1926-2011)は「開成中学」時代に薫陶を受けたのである.

ところで，我田引水の謗りを免れないが，「ことばの花束」(岩波文庫,1984)に関して，筆者の無名就職浪人時代(編集部メンバー)の出版物で，生前竹林滋先生の声掛けによるものである．日本に Quotations の伝統がなく，丁度岩波に先生の愛弟子天野泰明氏(既に定年退職，現在イタリア語翻訳者；岩波文庫「相対性理論」のあとがきに，訳者から彼への感謝と苦言が示されるのは例外的で，編集中に苦労譚は聞かされていた)で，当時彼が文庫担当であったことも幸いし，カード作成に 2 年(1983-1984：リスボン留学(1980-82)帰国後)ほど費やし，編集に相当額を投じて，出版前，先輩は上司から，費用の掛け過ぎを叱責されたが，いざ出版して，文庫売り上げのドル箱化(印税支払いなし)して，叱責が称賛に変貌した．ただ，竹林先生なり，先輩の本音は，当時の若者の読書離れの歯止めになり，売れない文庫の売り上げを狙ったのであるものの，肝心の本体が売れずに，皮肉なことに，著者引用句という「広告本」だけが突出した売り上げを誇ることになった．当時模倣本が数々出版されたり，朝日新聞「天声人語」がネタ切れすると「ことばの花束」の引用が孫引きされたりしていた．また，官庁オフィス街の朝礼の部長訓示が急に文学的に変わったことで失笑の対象になったりしていた．目下 42 刷(2022 年)の超ロングセラー．読書離れの風潮は 40 年間ずっと不変．今のデジタル社会で，SNS の群雄割拠，跳梁跋扈する渦中，不思議な現象でもある．ただ，既に初版から 40 年ほどが経過している．

他方，表紙デザイン制作者は著名なケルスティン・ティニ・三浦氏で，長く面識はなかったが，故・谷村新司の作詞直筆集(豪華本)をマーブルデザインで装丁する制作過程が NHK 教育番組「美しい本との出会い」(1997)になって，その時初めて顔と名前が一致することになり，以後親交を深めている．現在，2 人は三浦永年氏の実家登米市からそれほど遠くない気仙沼市在住で，今もコンタクトは続く[6)].

また，竹林滋「戦時中の開成の英語」に言及される英語教諭，陶芸家・石田外茂一作朝鮮木面を模した作品(現在廃刊『季刊銀花』秋，第 27 号，1976,p.7-8)は東洋陶磁美術館・韓国人鄭銀珍学芸員の見立てで，芸術的価値が高いと判断され，戦争中疎開先であった石川県五箇山(世界遺産)にある博物館などまで出かけて探したことがあったが，結局分からず，そのうちに所有の可能性の一番高かった長男石田蕙一は既に故人で，行方不明のまま．発見できれば，東京の日本民藝館に保存のお願いをする段取りをしていた[7)].

## 同調主義に迫る

昨今の SNS の所謂バズり現象でも明らかなように，定見のあるなしにかかわらず，人は簡

単に同調し，なびいてしまうことがよく分かった．We shall overcome(1963)と Joan Baez(1941 生)[8]が唱えたところで，結局，制度上公民権法(Civil Rights Act）が制定されても，非暴力主義の鑑，Martin Luther King Jr.(1929-1968)は暗殺され，Barack Hussein Obama II(1961 生)，African American President の登場も空しく砂上の楼閣に終わり，白人がマイノリティーになることを懸念した社会から，時代錯誤的で，Deal 大好き米国頭首の登場で，欧州中近世の王権神授説が蘇り，絶対君主制が公然と敷かれることになるという恐ろしい今を生きている．タイムスリップであたかも 200 年前に逆戻りして，異様な価値観が跳梁跋扈し，歯止めが利かなくなった．筆者の見立てでは，無定見な米国大統領は実は蚤の心臓で，時代錯誤的な王権神授に頼るしか，自身を支える精神的後ろ盾がこの世にはないのかと仮説を立てている．

さて，同調主義による，旧優生保護法を是とするハンセン病患者差別や結核という病理的差別に抱き合わされた部落差別(二重の差別)の個別分析を行うことにする．

乾死乃生は保健師界の傑物で，保健師活動を以下のように分析する：保健婦活動で苦労した人に賞をあたえ，マスコミがそれを美談風荒木に書くことには憤りをおぼえます．国がきちっと保障すべきなんです．孤島で活躍した荒木初子さんが，こういう形でしか報われないのでしょうか．駐在制だって，保健婦だけがいって，医者が行かないなんて…(中略)…保健婦を僻地へやって，医者がコンピュータで保健婦をリモコンする．ほんとうに生命を大事にするんだったら，こんなことおかしいでしょ う：第 9 回藤原九十郎賞(1987 年）授与に際しての乾死乃生のコメント(木村哲也著『駐在保健婦の時代 1942 -1997』医学書院，2012 年 9 月，p.284-6 )

ここに登場する荒木初子(1917 年-98 年）は，高知県沖ノ島出身，駐在保健婦のことで，その献身的な努力により乳児死亡率は下がり，風土病のフィラリア患者も減少したことで第 1 回吉川英治文化賞(1967 年)の栄誉に浴した．作家・ 詩人伊藤桂一(1917-2016）の取材を受け，『「沖ノ島」よ　私の愛と献身を離島の保健婦荒木初子さんの十八年』(1967 年）が上梓される．テレビドラマ版（1970 年)の先行映画『孤島の太陽』(1968 年）は，この伊藤桂一著取材小説を基に，朝の連続テレビ小説「おはなはん」(1966-67 年)で当時人気絶頂期にあった樫山文枝を主演に，劇団民藝総動員出演で製作された.この西暦 1967 年は押さえておくべき年である．荒木初子が吉川英治文化賞を受賞した年であり，乾 が松原市・同和地区「更池」地区の担当を始めた年である．荒木が 20 年ほどをかけて，風土病のフィラリア患者について，医療的に救済を達成した一方で，乾は治療困難な結核がトレースされ，同和地区が二重に「門地」(病理的差別及び社会的差別)化される不条理感を看過できぬと苦悩したはずである．傍らには，感受性豊かで元気溌剌な 20～30 代のカリスマ放射線技師・井戸武實(1945-2025)青年がともに行動している．共感せずにはいられなかったであろう． ただ，実は，遡って当時 35 歳の乾，曰く「今回「大阪公衆衛生」の創刊号が発行されましたことは，自分達の会誌と云う近親感もあって大変よろこばしくうれしく存じます．公衆衛生に従事されるあらゆる職種の方々が，自分達の仕事の悩み苦しみ楽しさを自由に話し合い討論し，そ

の中から発展した「大阪公衆衛生」はわが物としてその実惑が深く胸に響きます．本誌がいよいよ私達のよりよき仕事の指針として発展しますことを心から期待いたします」(大阪府狭山保他所保健婦乾死乃生)，(「”大阪公衆衛生”創刊号を手にして／季節メモ」)(『大阪公衆衛生』第 2 号,(公財)大阪公衆衛生協会,1958)，p.41-42．いかにも素直で誠実な職業倫理に溢れる言葉が並ぶ．1967 年 44 歳以降の批判力旺盛となった実践者の彼女と隔絶の感がある．

閑話休題．ここで指摘すべきは，一つは，国策による同調主義の問題である．荒木初子自身も持ち上 げられて美化されたことに違和感を抱いたとするが，本質的には乾が指摘した通り，厚労省という国民の健康行政を統括する国家機関が財政的な問題から，離島に高給になる医師を派遣せず，安く上げた結果を乾は酷評する．その謂わば「不都合な真実」を隠蔽するために荒木は巧みに利用され，映画 テレビメデイアも格好の宣伝媒体を担わされた．ただ，他方，それに啓発されて保健師を目指した，献身的な素直な数多くの若年層の存在自体は肯定されるべきである．もう一つは，部落差別の問題である．その前に，大阪防疫協会機関誌には，青木美憲著「ハンセン病対策の過ち」(第 208 号，2024，p.2-7)が掲載されている．映画公開 50 年を契機に 2024 年 10 月初旬 BS 松竹東急で名画「砂の器」(1974)が放映され，筆者は滞在先の蓼科字鹿山で鑑賞した．東京外大在学中にも，映画館で鑑賞したが，当時は無知で何故に本籍を移したために主人公が大恩義のある巡査(緒形拳)を殺害までしたのか，分からず仕舞だった．特に今回は NHK 朝ドラ「虎に翼」(2024 年上半期)が高視聴率で，毎日欠かさず家族で鑑賞し，憲法第 14 条の自由平等にある「門地」を問わぬ自由・平等が主人公によって何度も復唱され，心に響き，「砂の器」の理解がより深まった．憲法は近代的理想主義で規定し，対する前近代的な慣習法の「門地」による差別意識は，「三つ子の魂百まで」の如く，10 歳(小 4)で国語の教科書で「壁新聞の作り方」などを通して 5W１H が知識注入され，理由付け(理詰め)の母語発話が可能になるものの，それ以前，意識に刷り込まれてしまう「門地」の原体験的差別「感」は，理性によって差別「意識」として相対化されず，凌駕されない人間の性(サガ)として厳然と存在し，とりわけ被害者は四六時中，塗炭の苦しみに喘ぐことになる．映画「砂の器」で は，演出上肉声を抜いて，幼少期の主人公が周囲から指を指され，いじめられる場面が主人公のピアノ演奏・指揮によるオーケストラ交響曲「宿命」をバックに映し出された．ハンセン病罹患による差別以前の問題で，根深い二重の差別構造を形成している．治癒可能で感染力の極めて低いハンセン病が科学的に根拠なくトレースされ「地域」に刻印される「門地」差別から自ら解放されるために，主人公はやむなく殺人事件を起こす．憲法通りに「門地」差別が現実に消滅していれば，事件は起こらず，愛人問題も解決の糸口を見出し，ハンセン病患者実父との関係が正常化すれば，ピアニストは未曽有の成功者として，物語は大団円の内に幕を閉じるのである．一方，しかし，この二重の差別構造の社会問題は今でも未解決である．SNS など IT 技術が急速に発展する中，万能の裏返しで，負の側面も容赦なく加速度的に悪質化している．とにかく何時になっても乗り越えられず，慣習法のくびきの下，現今の対外的に 2 国間及び複数諸国間，そ

れぞれ固有の民族主義抬頭にあって，各国内的に少数民族差別はますます酷くなり，世界的にも「門地」による差別は一向になくなる気配はない．乾が直面した，ここでの結核を契機とする差別の 2 重構造のほうが，ハンセン病による 2 重の差別構造より，部落差別という社会的差別を抱え，根深さを痛感する [9].

## 同調主義に与しない実践例

さて，気候変動などによる地球規模の食糧難・食糧確保に起因する自国民を守ることから民族主義が擡頭し，同調主義の名の下に，極端化する政治・思想的な右傾化，あるいは左傾化の極限状況から，現今の軍備増強・軍拡化の波乱の波が押し寄せている．品質・工程管理を標準化するための，戦後朝鮮特需(1950-1952 年)に見られるように，本来ならば，経済復興(景気喚起)にも資するために，短期的・局所的・限定的軍需産業が，世界のあちこちで興り，常態化しており，戦争(有事)好景気という美名でしか，救済の道は図れないという人類の歴史的に繰り返される愚行に同調主義を科される民衆は翻弄され，戦火の中で，最悪の場合は犬死を強いられている．
一方で，民族差別，外国人排斥が SNS 上で炎上し，冷静に対応せず，同調主義に陥いる民衆は右傾化する政権を選択している．こうした現況に至る過去の悪しき道のりに対して，理想主義的で公平無私な立場から，発言を続けた人物がいる．故・稲富進(1932-2023)であり，1971 年「全朝教大阪（考える会)」を結成，代表を務める．1979 年「全国在日朝鮮人教育研究協議会」の結成に参画，代表，事務局長を務める．教育新書３『日本社会の国際化と人権教育』1992 年，大阪市教育センター刊，『ちがいを豊かさに―多文化共生教育の明日を拓く』2008 年，三一書房刊，『島人二世教師と在日朝鮮人教育』2013 年，新幹社刊などが挙げられるが，1990 年「国際識字年」に誕生した識字・日本語教室「よみかき茶屋」(社会教育施設識字学級モデル教室)で，筆者は 2009 年頃から手伝いを始め，そこでコーディネーター稲富進氏に出会った．2017 年実際には絶筆となった，渾身の一冊『思いを紡ぐ』(非売品)を謹呈していただいた．本書を「教師としての生き方の集大成」と自身位置付け，理想主義的で同調主義に与しない立場が貫徹される本書は読み易く，分かりやすい語り口である．ただ，非売品であり，所謂出版社などの刊本でないために，知る人ぞ知るで終わってしまうことを残念に思い，寺田出版株式会社のご理解を得て，ここにデータ版を附属資料として掲載するものである．合わせて「外国籍住民の日本語・日本文化学習支援プログラム報告書」(2009 年度 CSCD 社学連携事業，大阪市・大阪大学包括協定実績)をデータ化して掲載する．

## マイノリティの量的考察

マイノリティの量的定義は定まっていないが，大阪市人口約 260 万人比 5%程度の在朝・在韓人口 14～15 万人（府下)，サンパウロ市人口約 1,100 万人比同様に 5%程度の日系移

民人口 55 万人について，世紀を越えて現地社会において社会的進出・活躍を保証する高 学歴教育投資を可能ならしめた，教育現場 40 人クラスサイズでの言語・文化を継承維持 する最小単位 2 名，すなわち 5%というのはマイノリティの最下限の割合である．一方，2006 年米国のヒスパニック系（4,400 万人）の占める総人口比は 14.8%であるが，総人口比 12%に上る米国最大人口 3,700 万人を抱えるカリフォルニア州にあって，ヒスパニック系人口は 2000 年 26%から 2004 年 35%へと激増推移している．さて家族最少単位 ＝親子 3 人が 2 組存在するのを言語・文化を継承維持する「家族版」最小単位とし，上記 40 人クラスで見ると，3 人×2 組＝6 人は 15%に上る．この割合がマイノリティの人口比上限の目安ではないかと判断する．さらにそれぞれの家族の子供（2 世）が結婚し，3 世の誕生で両家計 10 人となり，割合が一気に 25%，さらに 3 世が結婚し，4 世の誕生にまで至ると，14 人となって，35%となる [10]．2026 年成人式に際して，20 歳人口の公表があり，東京 23 区で外国人の占める割合は 6 人に 1 人で，従って，約 17%となり，このマイノリティ上下限域，5%～15%を超え，最早マイノリティではないと言える．現在，気候変動による難民化回避のために移住した長野県茅野市にある食品製造工場でも，労働力として，多国籍の技能実習生などに等しく支えられ，首都圏，留学生，技能実習生の割合の多い新宿区では，既に 49%に達し，5 割を超え，マジョリティになるのは，時間の問題である．

---

註）

1）拙稿：発見！吉村勝露生(1906-36)作『人間的な基督』(1927)　～29 歳 365 日目の戦死～ ｜ 咲耶会(2022)

拙稿：吉村勝露生著「人間的な基督」翻刻・註・解説(OUKA 所収，2022)：吉村勝露生「人間的な基督」大阪外国語学校校友会編『咲耶』第 6 号, 1927 年 12 月 15 日, pp. 88-97. を翻刻し，註および解説を附したもの

参考：吉村勝露生(満洲日日新聞社編『満洲建国烈士遺芳録』1942 年)，pp. 225-232：http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1042940/117?tocOpened=1

「烈士之碑」(1938)： http://blog.livedoor.jp/tadaiken/archives/51800568.html

（2007 年 11 月 13 日付）参考：https://ameblo.jp/ssasamamaru/entry-12043633804.html

2）参考：塩谷茂樹 Ш. Шиотани モンゴルの世界へいざなう ～人と言葉と文化～ 写真で振り返る「烈士之碑」の歴史，2021.

3）中川勝(満洲日日新聞社編『満洲建国烈士遺芳録』1942 年),pp.267-274：https://dl.ndl.go.jp/pid/1042940/1/138

4）関連：大平頼母： CiNii Books - メンデリズム(手元に原本(古本)あり)

林田も下記 URL で日常生活に脈々と流れる同調主義を主題にまとめたことがある：

同調主義の正体 ：『孤島の太陽』を契機に考察する(大阪公衆衛生，2021，第 92 号，p.67-68)

5）拙稿：林田雅至・朱色加筆修正，竹林滋「戦時中の開成の英語」(1993.6)：2015.

参考： 拙稿「淺川伯教著「鈴木先生」(『京城日報』掲載，1930 年 5 月）による鈴木先生の審美眼の分 析考」(『Co＊Design』大阪大学 CO デザインセンター，2019 年)，(5) pp. 65-75：https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/71647/cod_05_065.pdf
関連：https://sakuyakai.net/1926/reprint_hayashida.pdf
6）参考：『ことばの花束: 岩波文庫の名句 365』｜感想・レビュー 読書メーター：https://bookmeter.com/books/406040
【東北のアートを旅する】 宮城県気仙沼市在住 マーブルアーティスト三浦永年さん、製本装幀芸術家ティニ・ミウラさん夫妻インタビュー／Kappo2023 年 5 月号より ｜ARTICLES｜Kappo(仙台闊歩)：https://kappo.machico.mu/articles/8240
なお，二人から謹呈された圧巻の署名入り限定豪華本は退職時に寄贈し，阪大豊中総合図書館で閲覧可能である．
7）岡村定矩著「石田蕙一先生を偲ぶ」(公益社団法人日本天文学会編「天文月報」，2013 年，第 106 巻，第 6 号，p.454-55)：天文月報 2013 年 6 月号目次
鄭銀珍：再掲：淺川伯教著「鈴木先生」(『京城日報』掲載、1930 年 5 月）による鈴木先生の審美眼の分析考
8）勝利を我らに We Shall Overcome／ジョーン・バエズ Joan Baez（1963 年）
9）拙稿：生前の井戸武實の言説を繙(ひもと)いて(日本の結核対策 ：過去から未来へ：2025)の註 6)
10）拙稿：旧大阪外国語大学・地域連携事業から 新大阪大学・社学連携事業へ(Communication-Design, 2010, 3,p. 226-236), p.234-235.
本文及び註釈にある URL に関して，最終閲覧日：2026 年 1 月 12 日である．

附属資料：
1. 旧大阪外国語学校・第 4 回卒業記念帖「あけぼの」(1928)：冒頭数頁デジタル版：
2. 昭和 8 年度中華及満洲修學旅行日程表：
3. 「大阪外国語大学創立 50 周年記念絵葉書」(1972)：デジタル版：
4. 稲富進著『思いを紡ぐ』(非売品)，2017.
5. 「外国籍住民の日本語・日本文化学習支援プログラム報告書」(2009 年度 CSCD 社学連携事業，大阪市・大阪大学包括協定実績)

奥付：
発行：2026 年 1 月 31 日　第 1 刷

**研究ノート：旧大阪外国語学校・第 4 回卒業記念帖「あけぼの」(1928)，故・奥平正二撮影編「昭和 8 年度中華及満洲修學旅行：1933 年 7 月 19 日神戸港發～8 月 13 日満洲國政府・新京解散」寫眞帖(1933)，第 10 回卒業記念帖「鵬翼」(支那語部，1933)を手掛かりに同調主義を考察する**

編集・発行：大阪大学 CO デザイン・センター内
旧林田研究室「世界遺産研究窓口」

印刷：株式会社ユニワールド印刷センター